

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場会社名 明治電機工業株式会社  
 コード番号 3388 URL <http://www.meijidenki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企画管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 安井 善宏  
 (氏名) 伊藤 秀則  
 配当支払開始予定日

TEL 052-451-7661

平成20年12月5日

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	27,575	—	656	—	793	—	450	—
20年3月期第2四半期	29,095	2.7	1,095	△7.9	1,205	△5.7	723	2.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	37.48	—
20年3月期第2四半期	59.94	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	25,583	—	13,003	—	50.8	—	1,086.18	—
20年3月期	28,049	—	12,930	—	46.1	—	1,071.54	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 13,003百万円 20年3月期 12,930百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
21年3月期	—	12.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,548	△3.6	1,552	△34.7	1,788	△29.3	1,032	△31.7	85.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 12,067,120株 20年3月期 12,067,120株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 95,600株 20年3月期 一株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 12,028,234株 20年3月期第2四半期 12,067,120株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年7月30日に公表いたしました通期の連結業績予想は、自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益につき変更しており、その他の業績予想数値は変更ありません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定・業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライム問題、リーマンショックなど金融市場の世界的混乱が進行し、加えて原油価格の乱高下、原材料の高騰などで企業収益が圧迫され、景気の先行きに対する不透明感はさらに強まる展開となりました。

こうした中、当社グループは今年度より第6次中期経営計画をスタートさせ、「商社機能を持ったFAエンジニアリング企業」を事業コンセプトに、エンジニアリング力、サポート力を最大限に発揮しつつ、業種別営業の確立によってより戦略性の高い営業活動を展開できるよう、一丸となって取り組んでまいりました。

自動車関連業種においてはこうした取り組みに一定の成果が出始め、かつハイブリッドなど環境対策を含めた事業分野への投資を積極的にサポートし、当業種に関する売上は堅調に推移しましたが、一方、各企業のコスト削減圧力の高まりによって粗利率は低下し、またセラミック、半導体、機械関連においては、依然設備投資の抑制が続くなど、全体としては厳しい環境が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は275億75百万円、経常利益は7億93百万円、四半期純利益は4億50百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて24億65百万円減少し、255億83百万円となりました。主な要因は、流動資産が22億80百万円減少したことによるものであります。

流動資産につきましては、営業債権の減少が17億54百万円となったことを主因に前連結会計年度末に比べて22億80百万円減少し、216億23百万円となりました。

流動負債は、営業債務の減少が17億52百万円、短期借入金の減少が5億50百万円及び未払法人税等の減少額が1億78百万円あったことを主因に前連結会計年度末に比べて24億73百万円減少し、121億69百万円となりました。流動比率は前連結会計年度末より14.5ポイント上昇し177.7%となりました。

純資産額は、前連結会計年度末に比べて72百万円増加し、130億3百万円となりました。1株当たり純資産額は1,086円18銭となり、また、自己資本比率は前連結会計年度末の46.1%から50.8%になりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億98百万円減少し、10億65百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億48百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益7億89百万円、減価償却費94百万円、売上債権の減少額17億23百万円及びたな卸資産の減少額1億29百万円があったこと等による資金増と、仕入債務の減少額17億19百万円及び法人税等の支払額5億10百万円があったこと等による資金減によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億27百万円となりました。これは、関係会社貸付金の回収による収入1億88百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出40百万円、関係会社に対する貸付による支出2億14百万円及び関係会社株式の取得による支出50百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億64百万円となりました。これは、短期借入金の純減少額5億50百万円、自己株式の取得による支出63百万円及び配当金の支払額1億50百万円があったことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年7月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

###### ① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

###### ② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

###### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ17,966千円減少しております。

##### 3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,065,582	1,363,996
受取手形及び売掛金	17,633,090	19,387,121
商品	2,116,169	2,216,301
製品	10,355	12,076
原材料	38,593	65,343
仕掛品	202,068	217,604
その他	578,969	668,506
貸倒引当金	△21,433	△26,869
流動資産合計	21,623,396	23,904,080
固定資産		
有形固定資産	2,229,093	2,246,990
無形固定資産	127,471	156,558
投資その他の資産	1,603,808	1,742,139
固定資産合計	3,960,373	4,145,688
資産合計	25,583,769	28,049,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,574,599	12,327,215
短期借入金	—	550,000
未払法人税等	387,290	566,209
賞与引当金	357,163	344,000
役員賞与引当金	15,432	—
その他	834,542	855,518
流動負債合計	12,169,027	14,642,942
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
役員退職慰労引当金	97,200	97,900
その他	14,323	78,530
固定負債合計	411,523	476,430
負債合計	12,580,551	15,119,373

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,311,778	1,311,778
資本剰余金	1,371,950	1,371,950
利益剰余金	10,335,590	10,035,636
自己株式	△63,813	—
株主資本合計	12,955,504	12,719,364
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82,106	176,200
為替換算調整勘定	△34,392	34,830
評価・換算差額等合計	47,713	211,030
純資産合計	13,003,218	12,930,395
負債純資産合計	25,583,769	28,049,768

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	27,575,848
売上原価	24,038,640
売上総利益	3,537,208
販売費及び一般管理費	2,880,633
営業利益	656,575
営業外収益	
受取利息	14,702
受取配当金	22,388
仕入割引	110,078
その他	39,043
営業外収益合計	186,212
営業外費用	
支払利息	14,748
売上割引	28,747
その他	5,660
営業外費用合計	49,157
経常利益	793,630
特別利益	
固定資産売却益	226
貸倒引当金戻入額	5,132
特別利益合計	5,358
特別損失	
固定資産売却損	32
投資有価証券評価損	7,010
その他	2,830
特別損失合計	9,873
税金等調整前四半期純利益	789,116
法人税等	338,323
四半期純利益	450,793

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	789,116
減価償却費	94,138
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,132
受取利息及び受取配当金	△37,090
支払利息	14,748
売上債権の増減額 (△は増加)	1,723,058
たな卸資産の増減額 (△は増加)	129,308
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,719,996
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,163
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,432
前渡金の増減額 (△は増加)	49,532
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△10,692
未収入金の増減額 (△は増加)	80,171
差入保証金の増減額 (△は増加)	29,460
その他	△29,385
小計	1,135,833
利息及び配当金の受取額	37,657
利息の支払額	△14,748
法人税等の支払額	△510,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	648,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△40,146
関係会社貸付けによる支出	△214,000
関係会社貸付金の回収による収入	188,000
関係会社株式の取得による支出	△50,045
その他	△11,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△550,000
自己株式の取得による支出	△63,813
配当金の支払額	△150,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54,640
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△298,413
現金及び現金同等物の期首残高	1,363,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,065,582

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社グループは、主として電気機器・計測器及び電気設備並びに自動・省力化用機能部品とその設備の販売を営んでおり、事業区分としては単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表  
中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	29,095,053	100.0
II 売上原価	25,100,123	86.3
売上総利益	3,994,929	13.7
III 販売費及び一般管理費	2,899,884	9.9
営業利益	1,095,045	3.8
IV 営業外収益		
1 受取利息	15,453	
2 受取配当金	12,373	
3 仕入割引	115,644	
4 為替差益	11,067	
5 その他	22,609	
	177,148	0.6
V 営業外費用		
1 支払利息	25,510	
2 売上割引	30,165	
3 売上債権売却損	7,813	
4 その他	3,657	
	67,146	0.3
経常利益	1,205,046	4.1
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	802	
2 投資有価証券売却益	7	
3 ゴルフ会員権売却益	83	
4 役員保険解約益	10,438	
5 貸倒引当金戻入額	13,869	
	25,201	0.1
VII 特別損失		
1 固定資産除却損	964	
2 ゴルフ会員権評価損	350	
	1,314	0.0
税金等調整前中間純利益	1,228,933	4.2
法人税、住民税及び事業税	452,603	
法人税等調整額	52,974	1.7
中間純利益	723,355	2.5